

# 埼玉県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

埼玉県は、周囲を1都6県に囲まれた海のない内陸県で全域が都心から100km圏内、県土面積に占める河川の割合は3.9%で全国第2位。人口は約734万人で全国の5.9%を占め、全国第5位となっている。  
内陸性の太平洋側気候に属し温暖である。関東地方の主要な社会・経済拠点として将来の更なる発展が期待される。

埼玉県内の事業所数は約23万事業所、東京、大阪、愛知、神奈川に次ぎ全国第5位。産業大分類別事業所数では、製造業が第4位、卸売業・小売業が第6位となっている。食品製造業の製造品出荷額は全国2位。

農林水産物については、恵まれた自然条件と、大消費地である首都圏の中央にある産地という「地の利」を生かし、野菜、米、麦、花き、果樹、畜産など多彩な農業生産が行われている。特に、産出額（令和6年）は、花きが全国第7位、麦類が第6位、野菜が第8位と全国有数の産地となっている。

埼玉県では、農林水産業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和8年3月に、「埼玉県農林水産業振興条例」に基づき「埼玉県農林水産業振興基本計画」を策定した。この計画では、農林水産業が経済的に発展し“もうかる”農林水産業が実現していること、“もうかる”農林水産業の実現を礎に、産業を持続的なものとし、産業と生活が“つながる”、将来に向けて“つながる”、人・森・川が次世代に“つながる”ような農林水産業・農山村の実現を目指している。この方向性に併せて、大消費地に近接し、高品質な農林水産物が生産されている点を踏まえ、「近くておいしい、もうかる・つながる 農林水産業・農山村」を計画の将来像として掲げている。

将来像の実現に向けた具体的な施策として、ニーズに応じた農林水産物が供給される生産・流通・販売の体制の整備、スマート農林水産業の推進、優良農地の確保や有効利用、生産基盤の整備などにより収益力や生産性の向上を図っているほか、気候変動や家畜伝染病など様々なりスクへの対応に取り組んでいる。また、農林水産業への新規就業を促進し、地域の農林水産業を支える担い手を育成・確保するとともに、経営の法人化を推進し経営改善を図っている。さらに、本県農林水産業を持続的なものとするため、地球環境に及ぼす負荷の低減の促進や、食料供給以外に農林水産業が有する多様な機能・役割の発揮を通じた消費者・都市に支えられた農林水産業・農山村の振興を図っている。

## 主な農林水産物

### 米

東部地域を中心とする早期栽培から、北部地域の二毛作など、地域の条件を生かした米作りが展開されている。



### 小麦

麦の主要な生産県であり、中でも小麦は、安定した品質に加えて、製粉工場が近いことなどにより高い評価を受けている。



### さといも

西部地域を中心に生産され、特に落ち葉堆肥を活用して栽培されたものは独特のぬめりやねばりがある。（収穫量全国1位）



### ねぎ

県内で生産される野菜の中で最も作付面積が大きく、県を代表する野菜である。



（収穫量全国2位）

### 日本なし

東部・北部地域が主産地である本県の梨は、県オリジナル品種「彩玉」ほか全国梨選手権で最高金賞等を受賞するなど評価が高まっている。



### いちご

近年誕生した県オリジナル品種「あまりん・かおりん・べにたま」が全国いちご選手権で最高金賞等を受賞するなど評価が高まっている。



### パンジー

中央・東部地域を中心に、露地やハウスで様々な品種が生産されている。（出荷量全国1位）



### ゆり

北部地域を中心に切り花の生産が盛んで、特にゆりの出荷量は全国の約2割を占めている。（出荷量全国1位）



### 狭山茶

西部地域の狭山丘陵地域を中心に生産され、「狭山火入」という独特の仕上げ技術により、甘く濃厚な味に仕上がっている。



### ホンモロコ

全国に先駆け水田を利用した養殖技術を確認。東部地域を中心に養殖が行われている。



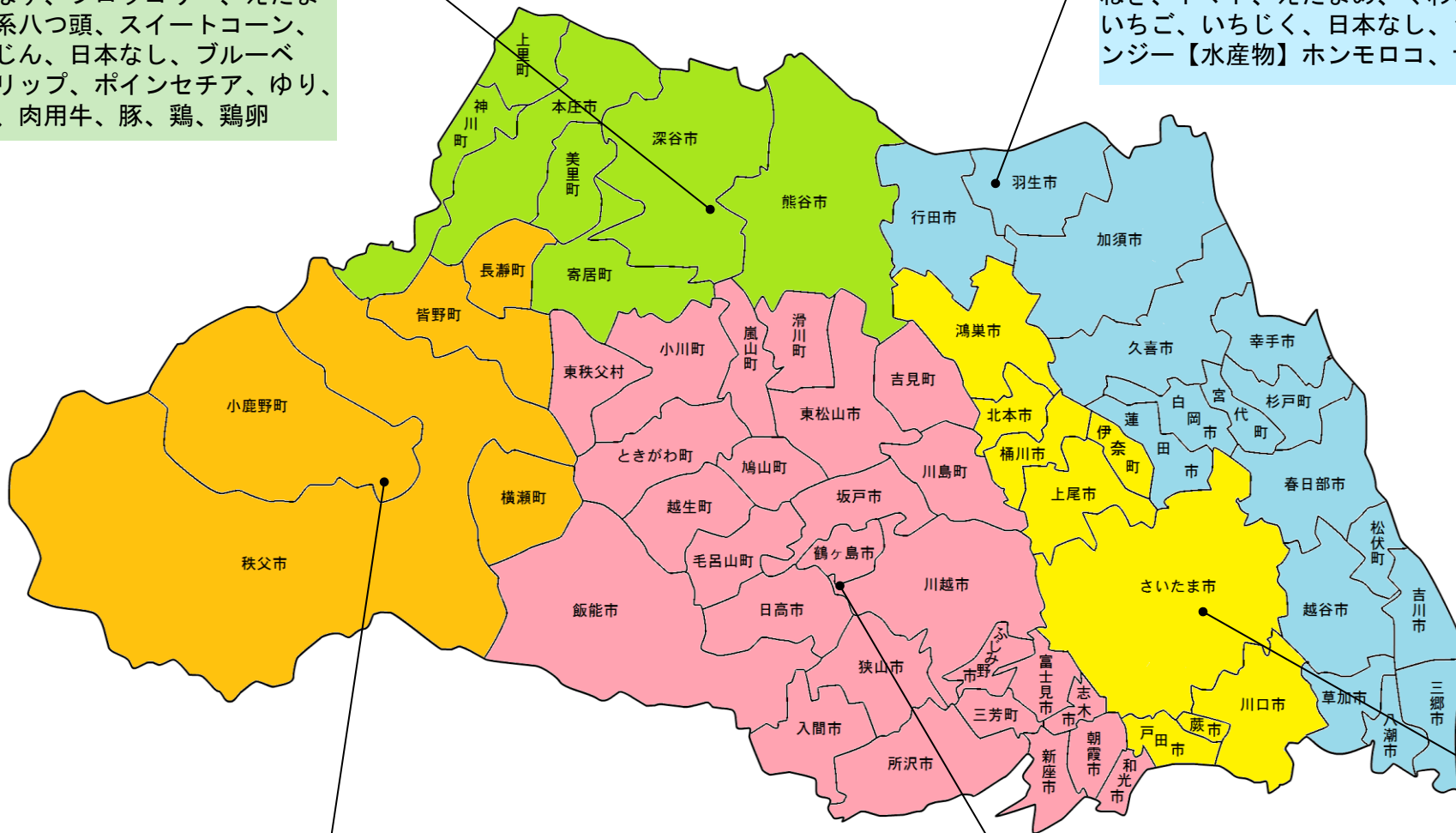
# 埼玉県内の各地域における農林水産物

## 北部地域

【農畜産物】水稲、小麦、ねぎ、きゅうり、やまといも、なす、ブロッコリー、えだまめ、かぶ、丸系八つ頭、スイートコーン、トマト、にんじん、日本なし、ブルーベリー、チューリップ、ポインセチア、ゆり、洋ラン、植木、肉用牛、豚、鶏、鶏卵

## 東部地域

【農産物】水稲、小麦、こまつな、きゅうり、ねぎ、トマト、えだまめ、くわい、丸系八つ頭、いちご、いちじく、日本なし、シクラメン、パンジー【水産物】ホンモロコ、ナマズ



## 秩父地域

【農産物】きゅうり、いちご、しゃくし菜、かぼす、ぶどう、かき、こんにゃく、繭、切り枝  
【林産物】しいたけ

## 西部地域

【農畜産物】さつまいも、こまつな、かぶ、ほうれんそう、さといも、えだまめ、くり、ぶどう、いちご、うど、にんじん、のらぼう菜、茶、いちじく、うめ、かき、ゆず、キンギョソウ、洋ラン、切り枝、鶏、肉用牛

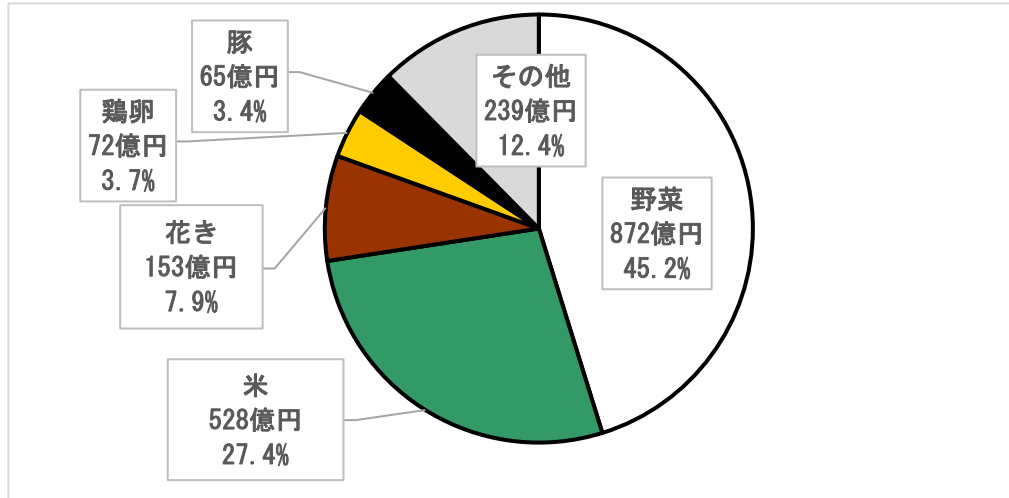
## 中央地域

【農産物】くわい、こまつな、木の芽、ヨーロッパ野菜（スイスチャード、ビーツ等）、日本なし、ぶどう、洋ラン、植木、カーネーション、パンジー、プリムラ、シクラメン、切り枝

# 埼玉県の農業（1）

- ・農業産出額は1,929億円で全国20位。うち米が528億円（27.4%）、野菜が872億円（45.2%）、畜産が250億円（13.0%）。
- ・農畜産物の生産状況は、さといも、ゆり、パンジーが全国1位、ねぎ、ブロッコリー、かぶが2位。

## 農業産出額の概略



## 農畜産物の生産状況

区分	年次	埼玉県	全国	全国順位	
水稻	収穫量	R7	146,600 t	7,790,000 t	19
小麦	収穫量	R7	20,900 t	1,031,000 t	8
さといも	収穫量	R6	17,600 t	118,900 t	1
ねぎ	収穫量	R6	46,400 t	399,200 t	2
ブロッコリー	収穫量	R6	14,500 t	160,500 t	2
かぶ	収穫量	R6	14,600 t	94,300 t	2
いちご	収穫量	R6	2,930 t	156,600 t	13
日本なし	収穫量	R6	5,670 t	172,700 t	9
ゆり	出荷量	R6	21,100 千本	98,000 千本	1
パンジー	出荷量	R6	7,520 千本	96,900 千本	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」

## 農業産出額のデータ

区分	埼玉県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,929 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	20
米	528 億円 (27.4)	25,524 億円 (23.7)	18
麦類	18 億円	582 億円	6 *
雑穀	0 億円	87 億円	19
豆類	1 億円	621 億円	32
いも類	29 億円	2,565 億円	10
野菜	872 億円 (45.2)	25,510 億円 (23.7)	8
果実	52 億円 (2.7)	10,112 億円 (9.4)	38
花き	153 億円	3,423 億円	7
工芸農作物	11 億円	1,577 億円	16
その他作物	15 億円	583 億円	11 *
畜産	250 億円 (13.0)	36,654 億円 (34.0)	34
肉用牛	53 億円	7,861 億円	33
乳用牛	56 億円	10,035 億円	26
生乳	52 億円	8,937 億円	26
豚	65 億円	7,567 億円	25
鶏	73 億円	10,170 億円	32
鶏卵	72 億円	5,764 億円	24
ブロイラー	x 億円	4,259 億円	- *
その他畜産物	2 億円	1,021 億円	21
加工農産物	1 億円	565 億円	31

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」  
注：( )は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「\*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

# 埼玉県 の 農 業 ( 2 )

- ・耕地面積は7万2,700haで全国16位。うち田が4万600ha、畑が3万2,100ha。
- ・農業経営体数は2万1,240経営体で全国18位。うち法人経営体数が675経営体で23位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は4,856経営体で全国18位。うち法人数が527法人で25位。
- ・農業生産関連事業は、農産物直売所の年間販売（売上）金額が504億円で全国3位、事業体数は760事業体で7位。

## 耕地面積

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
耕地面積	72,700 ha	4,272,000 ha	16
田	40,600 ha	2,319,000 ha	23
畑	32,100 ha	1,952,000 ha	13
普通畑	29,800 ha	1,118,000 ha	8
樹園地	2,250 ha	248,600 ha	32
牧草地	62 ha	585,900 ha	38
参考) 総土地面積	3,797.75 km <sup>2</sup>	377,979.74 km <sup>2</sup>	39

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	4,024 ha	256,667 ha	25

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
農業経営体数	21,240 経営体	836,054 経営体	18
法人経営体数	675 経営体	33,819 経営体	23
総農家数	36,981 戸	1,394,135 戸	14
販売農家数	20,456 戸	792,808 戸	18
参考) 世帯総数	3,162,743 世帯	55,830,154 世帯	5
集落営農数	74 集落営農	13,952 集落営農	38

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	25,546 ha	2,627,068 ha	26
集積率	35.1 %	61.5 %	32

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	27,609 人	1,036,228 人	17
男	17,729 人	659,332 人	15
女	9,880 人	376,896 人	16
65歳以上	20,012 人	721,311 人	14
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	72.5 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	4,856 経営体	212,136 経営体	18
法人数	527 法人	29,684 法人	25
参考) 人口総数	7,344,765 人	126,146,099 人	5

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	7,499 百万円	1,006,107 百万円	37
	事業体数	540 事業体	26,910 事業体	22
農産物直売所	総額	50,418 百万円	1,134,381 百万円	3
	事業体数	760 事業体	20,960 事業体	7
観光農園	総額	2,239 百万円	39,113 百万円	4 *
	農業経営体数	220 経営体	4,350 経営体	4
農家民宿	総額	x 百万円	4,933 百万円	- *
	農業経営体数	0 経営体	770 経営体	42
農家レストラン	総額	x 百万円	39,900 百万円	- *
	事業体数	30 事業体	1,390 事業体	16

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 埼 玉 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は31.3億円で全国34位。うち木材生産が7.1億円、栽培きのこ類生産が24.3億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国40位、まいたけが全国7位、広葉樹が12位。

## 林業産出額

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
林業産出額	31.3 億円	4,769.8 億円	34
木材生産	7.1 億円	2,369.4 億円	41
栽培きのこ類生産	24.3 億円	2,322.7 億円	23

出典：「令和6年林業産出額」

## 林野面積

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
林野面積	118,913 ha	24,744,214 ha	41
国有林	11,905 ha	7,117,059 ha	38
民有林	107,008 ha	17,627,155 ha	41
人工林面積	59,191 ha	10,059,386 ha	40

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林業経営体数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
林業経営体数	84 経営体	23,300 経営体	43
法人経営体数	17 経営体	3,813 経営体	44

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林産物の生産状況

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
素材生産量	67 千m <sup>3</sup>	19,763 千m <sup>3</sup>	40
針葉樹	44 千m <sup>3</sup>	18,398 千m <sup>3</sup>	41
すぎ	31 千m <sup>3</sup>	11,716 千m <sup>3</sup>	40
ひのき	11 千m <sup>3</sup>	3,019 千m <sup>3</sup>	32
広葉樹	23 千m <sup>3</sup>	1,365 千m <sup>3</sup>	12
生しいたけ	生産量 580 t	61,959 t	28
まいたけ	生産量 1,930 t	56,609 t	7 *
ひらたけ	生産量 3 t	4,004 t	20 *
乾しいたけ	生産量 6 t	1,574 t	27

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

## 製材工場数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
製材工場数	39 工場	3,547 工場	40
製材用素材の入荷があった工場数	39 工場	3,492 工場	40
国産材のみ	35 工場	3,013 工場	37
国産材と輸入材	4 工場	386 工場	25

出典：「令和6年木材統計」

# 埼 玉 県 の 水 産 業

・水産物の生産状況は、内水面養殖業のうなぎが全国16位。

## 漁業産出額

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	0 億円	14,785 億円	-
海 面 漁 業	0 億円	8,894 億円	- *
海 面 養 殖 業	0 億円	5,891 億円	- *

出典：「令和6年漁業産出額」

## 漁業経営体数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	#REF! 経営体	65,662 経営体	-
内水面漁業経営体数	93 経営体	4,076 経営体	14

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	#REF! 人	121,389 人	-
男	#REF! 人	109,757 人	-
女	#REF! 人	11,632 人	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁船隻数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
漁船隻数	#REF! 隻	109,284 隻	-
動力漁船	#REF! 隻	58,907 隻	-

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	- t	3,589,121 t	- *
海面漁業漁獲量	- t	2,786,195 t	-
海面養殖業収獲量	- t	802,927 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	7 t	47,046 t	43 *
内水面漁業漁獲量	1 t	17,915 t	39
内水面養殖業収獲量	6 t	29,131 t	42
うなぎ	4 t	16,674 t	16

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

## 漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	埼 玉 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	0 百万円	193,147 百万円
	事業体数	0 事業体	1,160 事業体
水産物直売所	総額	0 百万円	34,259 百万円
	事業体数	0 事業体	780 事業体
漁家民宿	総額	0 百万円	5,440 百万円
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	0 百万円	13,511 百万円
	事業体数	0 事業体	380 事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 埼玉県の農林水産業の話題等（1）

## 第75回全国植樹祭 66年ぶりに埼玉県で開催

全国植樹祭は、国土緑化運動の中心的な行事として、昭和25年以来、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、全国各地から緑化関係者等の参加を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹等を通じて、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に毎年開催されている。

令和7年5月25日に埼玉県秩父ミュージックパークを主会場として開催された第75回全国植樹祭は、埼玉県においては66年ぶりの開催となり、大きな盛り上がりを見せた。

「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」との大会テーマの下、埼玉県知事のあいさつでは「県内人工林の8割が利用期に達しており、森林資源の循環利用（活樹）が重要」と強調されるなど、「森林文化」「循環の林業（活樹）」「未来へつなぐ自然」を強く打ち出した、芸術性とメッセージ性の高い内容であった。

式典は、天皇陛下のご臨席による厳粛な儀式と、映像・舞台表現を融合したアトラクションが組み合わさり、また、県内ゆかりの著名人の参加、森林資源循環をテーマにした式典・展示・ワークショップなど、多彩なプログラムが展開され、全国でも例を見ない“物語型の植樹祭”となった点が特徴となった。

### 開催理念

- ・適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することで、森林・水・木材と私たちの暮らしや産業との結び付きを深め大切にしていきます。
- ・豊かな川で繋がる山村と都市が、協力して森林・みどりを共有の財産として守り育て、元気な姿で未来の子供たちへ繋いでいきます。



天皇陛下によるお手植え



招待者による植樹



天皇陛下が御着座された「お野立所」

# 埼玉県の農林水産業の話題等（2）

## 県産いちごの評価・知名度 益々高まる

一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催の「全国いちご選手権」及び「クリスマスいちご選手権」においてそれぞれ過去3回、合計6回の大会で県内生産者のいちごが最高金賞に選ばれている。

これらの実績により、埼玉県は「最もおいしいいちごを生産している県」として「プレミアムいちご県」に3年連続で認定されている。

また、食べチョクを運営する株式会社ビビッドガーデン主催の「食べチョクいちごグランプリ2026」においても、県内生産者のいちごが総合部門の最高金賞に選ばれた。

全国各地の産地から多数出品されるこれらのイベントで、食のプロによる食味評価により高評価を受け続けており、県オリジナル品種である「あまりん」、「かおりん」、「べにたま」の知名度は、益々高まっている。

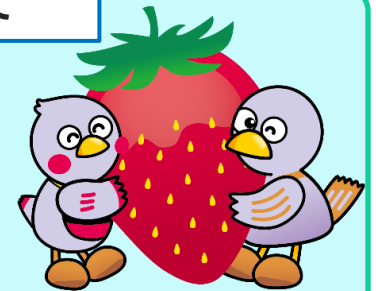
また、県も知事のトップセールスを始め、各所でのイベントやフェアを開催するなど、精力的にPRを続けている。

## 高品質な県育成品種いちごの生産・持続的なブランドの確立に向けて

令和7年12月から、「埼玉県育成いちご品種あまりん基準糖度確認証の交付制度」を開始した。

埼玉県オリジナルいちご品種の1つ「あまりん」の糖度を県職員が測定し、基準糖度（Brix値（可溶性固形物含量）11.0度）以上の生産者に「あまりん基準糖度確認証」を交付して、県産いちごの食味向上に取り組んでいる。

また、令和8年度からは、県育成品種「あまりん」の品質を高位・安定化し、県いちごブランドの長期確立につなげるため、AIを活用して汎用化技術を確立するとともに、栽培をサポートするシステムの開発に取り組む。



埼玉県のマスコット  
さいたまっち&コバトン

## 斑点米カメムシ類の対策

近年、斑点米カメムシ類、特にイネカメムシの発生が増加し、令和6年には大きな被害が発生した。

地域内で防除が不十分なほ場があると、そこがカメムシ類の発生温床となって被害が拡大するため、地域一帯で一斉に薬剤防除を行うべく、JAや防除協議会が取り組む広域防除に対し支援を行った。

また、出穂期前後に水田周辺の雑草地で除草をすると、餌場を失ったカメムシ類が水田へ移動する可能性がある。そこで、国や県の河川等の管理者と連携し、除草作業の時期を調整する等して、被害の低減を図った。

結果として令和7年は、カメムシ類の発生こそ多い時期もあったが、水稻への被害を低減することができた。



斑点米（着色粒）の被害